

公益財団法人 金沢市スポーツ事業団主催

## 第四回 かなざわスポーツ川柳コンテスト 入賞作品



8月から9月にかけて募集しました「スポーツ川柳」の入賞者が決定しましたので発表します。  
たくさんのご応募、ありがとうございます。

■募集期間 令和2年8月1日から9月20日まで

■応募者数 777人（全国46都道府県から応募がありました）

■応募総数 1,991句

■選評 石川県川柳協会 副会長 浜木文代先生



### 【一般の部】

## ワクワク感一年分を足す五輪

（千葉県 江戸川散歩様 68歳 男性）

### 【選評】

コロナ禍により東京五輪は一年延期になった。  
今年のワクワク感を上乘せすれば期待感はさらにアップ。来年がとても楽しみである。  
日本頑張れ！日本チャチャチャ！誰もが共感できる句である。



### 【小中学生の部】

## 運動場ここが僕らの甲子園

（石川県金沢市 北野綸大様 13歳 男性）

### 【選評】

好きな野球を思う存分に出来るのが、運動場でもあり甲子園でもある。  
白球を追い一心にバットを振り全速力で走る。その厳しい練習は仲間と一緒にだからこそ乗り越えられる。悩みは仲間だからこそ打ち明けられる。運動場に青春があかあかと炎える。



【一般の部】

## 激戦の潮目を変えた深呼吸

(熊本県 夏舟様 男性 38歳)



【選評】

一進一退の攻防戦。そんなギリギリの中、ベンチで采配を振るう監督やプレーする選手もさぞ大変だろうと思う。でもフツとひと呼吸入れて見るだけで不思議。ポツと妙案が浮かび勝利の神様が微笑んでくれる。



【一般の部】

## スイマーの再起がくれる希望の灯

(神奈川県 杉本湘路様 男性 74歳)

【選評】

池江選手が再びプールに戻って来た。それだけで惜しめない拍手を送りたい。全国からの応援を力に変えて、偉大なスイマーはみんなの希望の灯になった。池江選手の笑顔は日本中を明るくする笑顔である。



【小中学生の部】

## 波ぎわに足あと残る寒げいこ

(石川県金沢市 木戸口海翔様 男性 11歳)

【選評】

空手の寒げいこは極寒の中で行われる。足のつま先まで赤くして励む姿が浮かぶ。波打ち際に無数の足あとを残して、焚火に駆け寄る子を迎える親たち。強くなれ、大きくなれと願う。



【小中学生の部】

## 個人戦心の中は団体戦

(東京都 川村優生様 男性 13歳)

【選評】

みんなの応援を一身に受けて挑む。一対一の個人戦であるが一人じゃない。仲間のエールを身にまとい奮起する。少年期の熱い思いが伝わってくる。



【一般の部】

# 孫シュート爺も一緒に足を上げ

(大阪府) けろね様 男性 73歳

【選評】

応援席にいる祖父も、孫がシュートの時はつい力が入って「エイッ」とばかり一緒にシュート。その姿が目には浮かぶ。実に微笑ましい。



【一般の部】

# 試合なき球児の夏はみな勝者

(兵庫県) ベルナルドT様 男性 55歳

【選評】

今年の夏は甲子園を目指す球児にとって、正に記憶に残る夏となった。試合ができなかったけれども目標に向かって頑張った君たちはみんなみな勝者だと思う。



【一般の部】

# 筋トレを友と見せ合うオンライン

(東京都) 小松崎 潤様 男性 35歳

【選評】

自粛中の折、友達とオンラインで筋トレの情報交換や筋トレの成果など伝え合う。コロナ禍に負けないアクティブな句である。



【小中学生の部】

# 全力で走ると風がおどりだす

(千葉県 太田朱音様 女性 10歳)

【選評】

全速力で風を切って走り抜けたとき、風が心地よい。その心地よさを踊りだすと表現したところにみずみずしい感性を感じる。



【小中学生の部】

# 自粛あり走れる嬉しさ弾む足

(神奈川県 すけまる様 男性 14歳)

【選評】

自粛の中で思いっきり走れる場と時間を得た。今まで出来ていたことが、突然出来なくなつて以来の久し振りのグラウンド。嬉しくて心も足も弾んでいる。



【小中学生の部】

# 「そこだいきー！」ちよっとふるえた パパの声

(大阪府 ゆうゆう様 男性 8歳)

【選評】

背中に父の声を受けて、懸命に走る子供の姿が浮かぶ。家族っていいなと思う親子の情愛が伝わり、心が温かくなる。「そこだいきー！」がよく効いている。



佳作

【一般の部】

ユニフォーム臭いでわかるマネージャー

(兵庫県 さくら様 女性 20歳)

【選評】

部活の中でマネージャーが一人一人の選手に心を砕いて世話をする。汗びっしよりのユニフォームでも、ずばり誰の物かを当てるから凄い。



佳作

【一般の部】

ほほえみの地図を広げる万歩計

(福井県 マリーゴールド様 男性 56歳)

【選評】

人との出会い触れ合いを楽しみながら、どんどん距離を延ばしていく。季節は秋！山も空も呼んでいますよ。



佳作

【一般の部】

自粛中買ったシューズをおろす秋

(石川県 ゆらり様 女性 31歳)

【選評】

自粛ムードで巣ごもりする日が増えた。これを機会にやりたかったことを始めよう。新しいシューズで、さてどこに出かけようか。



佳作

【一般の部】

コロナ禍も変わらぬ絆エアタッチ

(兵庫県 山本光雄様 男性 56歳)

【選評】

ウイズコロナで行こうと動き始めた日本。人と人との繋がりはエアタッチで乗り越える。



佳作

【一般の部】

初試合整列だけで泣くおやじ

(和歌山県 森本りくお様 男性 58歳)

【選評】

父の夢をかなえてくれた息子。万感の思いで息子を見つめ涙ぐむ父の姿に胸が熱くなる。





【小中学生の部】

あの時のくやしなみだが次のゆめ

(千葉県 伊藤未来星様 男性 10歳)

【選評】

涙を流した分だけ間違いなく成長する。悔し涙はなお更である。「よし今度こそ」と思い未来の地図を描く。



【小中学生の部】

がんばった君のプレーが流れ呼ぶ

(石川県金沢市 小西 馨様 男性 13歳)

【選評】

夢の実現のために最後まで諦めないでボールを追いかける。その一つ一つに勝利の女神が微笑む。



【小中学生の部】

仲間から背中を押されて投げる球

(石川県金沢市 丹保颯仁様 男性 15歳)

【選評】

「頼むぞ」と声をかけられてマウンドに立つ。握ったボールがだんだん微熱を帯びてくる。その場の緊張感が伝わる。



【小中学生の部】

全員でひとつのアウト取りに行く

(東京都 伊藤悠真様 男性 14歳)

【選評】

全員野球で一丸となってチャレンジする青春。その熱さがとてもまぶしい。



【小中学生の部】

コロナ禍で三密避けて運動会

(石川県金沢市 ビッグウェーブ兄貴様 男性 13歳)

【選評】

運動会も三密を避けた感染対策が見られた。生き生きと競技する子供たちを応援する側も童心にかえって楽しんだようだ。

